

広報見聞録

「せたな町民文化祭」が各区で開催されました
せたなが芸能と芸術で染まる文化の秋

Koho - kenbunroku



11月上旬から中旬にかけて、北檜山区、大成区、瀬棚区の各会場において、毎年恒例の町民文化祭「作品展示の部」と「芸能発表の部」が開催されました。(主催：同実行委員会)

「作品展示の部」には、さまざまなサークルや個人のほか、各学校の生徒などが制作した芸術作品が並び、展示

期間中は多くのお客さんが訪れ、作品を鑑賞されていました。そのほか、会場には各種体験や実演コーナーも設置され、来場された皆さんは見るだけでなく、自ら体験しながら芸術と触れ合っていました。「芸能発表の部」では、それぞれ訪れた多くのお客さんを前に伝統芸能、舞踊、詩吟など日頃の練習の成果を精一杯披露し、会場からは大きな拍手と歓声があがっていました。

編集後記

●今回「町民文化祭 北檜山区」を取材しましたが、見るのは初めてで、展示会では陶器や手芸作品などどれも完成度の高い作品ばかりで、途中から写真を撮るのを忘れ普通に鑑賞していました。芸能発表会も日本舞踊からフラックシアターなどジャンルも幅広く、見ていてとても楽しかったです。来年は瀬棚区と大成区にも足を運んでみたいと思います。今回は表紙を飾るぐらいの写真を目指し、撮った写真は約300枚。選ぶのが大変でしたが、誌面の都合で掲載は少ないですが、ホームページの方にはたくさん掲載していますので、ぜひご覧ください。(児島)

●気づいたらもう12月。アベノミクス、二刀流、今でしょ、東京五輪おもてなし、じえじえええ、倍返し、楽天優勝……個人的に思い出す今年、あつという間の一年でした。果たして流行語大賞は何になるんでしょうか？あれですよ！答えは最後です。たいごんとして、「広報せたな」は毎月皆さんに情報をお届けするだけでなく、町の歴史を綴る貴重な資料として発行を続け、今回でついに100号目となりました。広報担当も私で5代目となり、再来年にはせたな町も合併して10周年を迎えます。当時0歳がもう小学生です。そしてアラサーだった私もアラフォーです……。そんな歴史を綴ってきた広報の100号記念企画も何か考えたいと思います。でもその前に新年号の表紙を考えないと……だけども再来年の表紙を考えるぜえ、そんな俺って「ワイルドだろお」……(尾野)

